

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月24日

上場会社名 株式会社小野測器 上場取引所 東  
 コード番号 6858 URL <https://www.onosokki.co.jp>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 安井 哲夫  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 大越 祐史 (TEL) 045-476-9706  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年8月19日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	6,172	△18.7	△71	—	△48	—	△64	—
2018年12月期第2四半期	7,595	15.8	753	—	769	—	498	—

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 △73百万円( —%) 2018年12月期第2四半期 255百万円( 164.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	△5.77	—
2018年12月期第2四半期	44.02	43.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	19,810	14,584	72.6
2018年12月期	20,980	14,749	69.6

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 14,390百万円 2018年12月期 14,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	5.00	—	12.00	17.00
2019年12月期	—	5.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△10.0	200	△79.2	250	△75.8	160	△76.9	14.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期2Q	12,200,000株	2018年12月期	12,500,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	1,032,586株	2018年12月期	1,334,136株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期2Q	11,166,637株	2018年12月期2Q	11,321,494株

当第2四半期連結累計期間において、2019年3月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年3月20日に自己株式300,000株を消却いたしました

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10
(追加情報)	P. 11
3. その他	P. 11
(ご参考資料)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (事業環境)

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、良好な雇用環境を背景とした個人消費が緩やかに回復している一方で、アジアを中心とした外需が下振れしている影響を受けまして、輸出や生産で減少の動きがみられる上に、米中を中心とした貿易摩擦問題など、多くのリスク要因を抱えた中で推移いたしました。

## (受注高、売上高及び受注残高の状況)

このような事業環境のなか、当第2四半期連結累計期間の受注高は、特注試験装置及びサービスが好調に推移したことから、74億4千万円（前年同期比14.8%増）となりました。売上高は、売上原資となります期首受注残高が大幅に減少していたこと、主に特注試験機において、顧客指定納期が当四半期連結累計期間内となる案件が少なかったこと、および主に計測機器におきまして、想定した以上に様子見の傾向が強かったことなどを受けまして、61億7千2百万円（前年同期比18.7%減）となりました。また、これらの結果、今後の売上原資となります当第2四半期連結累計期間末の受注残高は66億4千4百万円（前年同期比24.9%増）と大幅に増加いたしました。

## (損益の状況)

損益面は、全社で業務効率や原価率改善へ向けた取組みを継続して実施しましたが、売上高の減少が大きく影響し、売上原価率は52.5%（前年同期は52.0%）と、若干の増加となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発を精力的に進めた結果、前年同期に比べ1億9百万円の増加となりました。これらの結果、営業損失は7千1百万円（前年同期は7億5千3百万円の営業利益）、経常損失は4千8百万円（前年同期は7億6千9百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6千4百万円（前年同期は4億9千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社では当連結会計年度からの3ヶ年を第2期（「Challenge StageⅡ」）とする、中期経営計画を策定致しました。詳細につきましては、2019年1月29日公表の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。（当社ホームページ <https://www.onosokki.co.jp>）

セグメント別の業績は、次の通りであります。

## &lt;計測機器&gt;

「計測機器」は、自動車試験において使用されますギアノイズテスターが好調でありましたが、お客様の決算期末を挟んだ時期であり、特に生産関連機器や高額案件において様子見傾向が想定以上に強い中で推移致しました結果、受注高は22億3千9百万円（前年同期比14.5%減）、売上高は23億5千1百万円（前年同期比6.3%減）となりました。また、セグメント利益は研究開発費の増加などの影響を受けまして、6千2百万円（前年同期比84.7%減）となりました。

## &lt;特注試験装置及びサービス&gt;

「特注試験装置及びサービス」は、内燃機関の適合用試験装置や、シミュレーション試験装置の案件を順調に受注できたことから、受注高が51億9千3百万円（前年同期比34.6%増）と大幅に増加致しました。売上高は、お客様の決算期末へ向けて製造に注力し、確実に売上へと結びつけることができましたが、売上原資である期首受注残高が大きく減少していたことにより、38億1千3百万円（前年同期比24.9%減）となり、セグメント損失は1億3千4百万円（前年同期は3億4千5百万円のセグメント利益）となりました。

## &lt;その他&gt;

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

当区分の売上高は8千万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は1千万円（前年同期比20.8%増）となりました。なお、当区分の外部顧客に対する売上高は6百万円（前年同期比5.6%減）であります。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

## 受注実績

(単位:百万円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	2,618	2,239	△378	△14.5
特注試験装置及びサービス	3,858	5,193	1,335	34.6
その他	81	80	△0	△1.1
(調整額)(注)1	△74	△73	0	—
合計	6,483	7,440	956	14.8

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 売上実績

(単位:百万円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	2,511	2,351	△159	△6.3
特注試験装置及びサービス	5,077	3,813	△1,263	△24.9
その他	81	80	△0	△1.1
(調整額)(注)1	△74	△73	0	—
合計	7,595	6,172	△1,423	△18.7

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 営業利益実績

(単位:百万円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	406	62	△344	△84.7
特注試験装置及びサービス	345	△134	△480	—
その他	9	10	1	20.8
(調整額)(注)1	△7	△10	△2	—
合計	753	△71	△825	—

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は198億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ11億7千万円減少しました。主な内訳は、受取手形及び売掛金の減少、たな卸資産の減少であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は52億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5百万円減少しました。主な内訳は、短期借入金の減少、未払法人税等の減少、前受金の増加、長期借入金の一部返済による減少であります。

## (純資産)

純資産は145億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6千4百万円減少となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失による減少、配当金の支払による減少であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億7千2百万円増加(17.4%)し、25億1千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## 〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動によるキャッシュ・フローは、14億8千1百万円の収入となりました。主な内訳は、売上債権の減少額15億6千万円、たな卸資産の減少額1億8千5百万円、仕入債務の減少額1億4千5百万円、法人税等の支払額2億8千1百万円であります。

前年同四半期と比較すると、5億1千3百万円の収入の減少(△25.8%)となりました。

## 〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億5千1百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1億5千3百万円、無形固定資産の取得による支出7千8百万円であります。

前年同四半期と比較すると、6千9百万円の支出の増加(38.3%)となりました。

## 〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億4千万円の支出となりました。主な内訳は、短期借入金の返済による支出5億円、長期借入金の返済による支出2億7百万円、配当金の支払額1億3千3百万円であります。

前年同四半期と比較すると、8億9千9百万円の支出の減少(△51.7%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、特注試験装置及びサービスの受注は好調に推移したものの、売上高につきましては、主に特注試験機におきまして、顧客指定納期が当連結累計期間内となる案件が少なかったこと、および主に計測機器におきまして、想定した以上に様子見の傾向が強かったことなどにより、当初の予想を大きく下回ることとなりました。損益面では、全社で原価率改善へ向けた取組みを継続しましたが、売上高減少の影響により原価率は若干上昇したこと、また販売費及び一般管理費は、研究開発を精力的に進めた結果、前年同期比で増加したことにより、売上高の減少と相まって営業損失となりました。

通期業績につきましては、特注試験装置は受注が好調であるものの、翌期の売上となる案件が多いことから今期業績への貢献は限られます。また、計測機器については足元の状況に若干の改善傾向が見られ、今後は緩やかに回復すると期待されるものの、上期の減少分を補うには至りません。また、損益面におきましては、コストダウンの徹底を図るものの、売上高予想の修正による粗利益減少の影響が大きいこと、また販売費及び一般管理費については、研究開発等の将来に向けた活動は継続することから、利益予想の達成は困難であると判断し通期連結業績予想につきましても修正することとし、2019年7月22日に開示致しました。

今後につきましては、新規受注の獲得に注力するとともに、計測機器の販売強化、業務の効率化、コストダウンを推進し、予想の達成に注力してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,138	2,510
受取手形及び売掛金	3,045	1,681
商品及び製品	524	628
仕掛品	1,324	1,028
原材料及び貯蔵品	542	546
その他	68	143
流動資産合計	7,644	6,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,952	3,940
土地	5,917	5,917
その他(純額)	774	727
有形固定資産合計	10,644	10,584
無形固定資産	629	595
投資その他の資産		
投資有価証券	1,066	1,069
繰延税金資産	670	676
その他	324	343
投資その他の資産合計	2,062	2,089
固定資産合計	13,335	13,270
資産合計	20,980	19,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	391	245
短期借入金	1,000	500
1年内返済予定の長期借入金	414	414
未払法人税等	317	55
賞与引当金	66	81
その他	1,014	1,125
流動負債合計	3,203	2,421
固定負債		
長期借入金	856	649
退職給付に係る負債	1,981	1,965
その他	189	189
固定負債合計	3,027	2,803
負債合計	6,231	5,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,134	7,134
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	6,912	6,441
自己株式	△1,211	△937
株主資本合計	14,635	14,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	26
為替換算調整勘定	△21	△36
退職給付に係る調整累計額	△43	△37
その他の包括利益累計額合計	△30	△47
新株予約権	73	114
非支配株主持分	70	79
純資産合計	14,749	14,584
負債純資産合計	20,980	19,810



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,595	6,172
売上原価	3,947	3,238
売上総利益	3,648	2,933
販売費及び一般管理費	2,895	3,005
営業利益又は営業損失(△)	753	△71
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	25
賃貸収入	27	17
その他	13	17
営業外収益合計	61	60
営業外費用		
支払利息	7	4
売上割引	15	13
支払手数料	4	7
賃貸収入原価	5	4
為替差損	9	3
その他	3	4
営業外費用合計	45	36
経常利益又は経常損失(△)	769	△48
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	769	△48
法人税、住民税及び事業税	249	28
法人税等調整額	1	△18
法人税等合計	251	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	518	△57
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	498	△64

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	518	△57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274	△7
為替換算調整勘定	△13	△13
退職給付に係る調整額	25	5
その他の包括利益合計	△262	△15
四半期包括利益	255	△73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234	△81
非支配株主に係る四半期包括利益	21	8

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	769	△48
減価償却費	364	379
株式報酬費用	42	42
賞与引当金の増減額(△は減少)	30	15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	△7
受取利息及び受取配当金	△20	△25
支払利息	7	4
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	735	1,560
たな卸資産の増減額(△は増加)	21	185
仕入債務の増減額(△は減少)	△35	△145
未払消費税等の増減額(△は減少)	105	△96
その他	25	△122
小計	2,056	1,742
利息及び配当金の受取額	20	25
利息の支払額	△7	△4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△74	△281
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,995	1,481
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△110	△153
無形固定資産の取得による支出	△81	△78
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
保険積立金の解約による収入	23	—
その他	△11	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181	△251
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	△500
長期借入金の返済による支出	△427	△207
自己株式の純増減額(△は増加)	△200	△0
配当金の支払額	△113	△133
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,740	△840
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	59	372
現金及び現金同等物の期首残高	1,962	2,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,022	2,510

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、2019年3月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年3月20日に自己株式300,000株を消却いたしました。主にこの影響により、当第2四半期連結会計期間における自己株式は、1,032,586株、9億3千7百万円となりました。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,511	5,077	7,588	7	7,595	—	7,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	74	74	△74	—
計	2,511	5,077	7,588	81	7,669	△74	7,595
セグメント利益	406	345	752	9	761	△7	753

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,351	3,813	6,165	6	6,172	—	6,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	73	73	△73	—
計	2,351	3,813	6,165	80	6,246	△73	6,172
セグメント利益又は損失(△)	62	△134	△72	10	△61	△10	△71

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△10百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が9月30日であるOno Sokki(Thailand)Co.,Ltdについては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適切な開示を図るために、第1四半期連結会計期間より四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これに伴い当該子会社の業績については2018年10月1日から2019年6月30日までの9ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。なお、この変更による影響額は軽微であります。

## 3. その他

(ご参考資料)

## 主要な経営指標等の推移

回次	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	(参考)	対前期 増減値	対前期 増減率 (%)
決算年月	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12	2019/6	2018/6		
受注高(百万円)	13,779	11,247	13,897	13,346	7,440	6,483	956	14.8
売上高(百万円)	13,333	13,133	12,077	14,440	6,172	7,595	△1,423	△18.7
営業利益 (百万円)	468	361	182	962	△71	753	△825	—
売上高営業利益率 (%)	3.5	2.8	1.5	6.7	△1.2	9.9	△11.1	—
経常利益 (百万円)	650	397	214	1,032	△48	769	△818	—
売上高経常利益率 (%)	4.9	3.0	1.8	7.1	△0.8	10.1	△10.9	—
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (百万円)	412	235	198	692	△64	498	△562	—
売上高当期(四半期) 純利益率(%)	3.1	1.8	1.6	4.8	△1.0	6.6	△7.6	—
純資産額 (百万円)	15,084	14,501	14,811	14,749	14,584	14,796	△164	△1.1
総資産額 (百万円)	22,131	21,493	21,492	20,980	19,810	20,775	△1,170	△5.6
自己資本比率(%)	67.9	67.3	68.5	69.6	72.6	70.5	3.0	—
自己資本利益率(%)	2.7	1.6	1.4	4.7	△0.4	3.4	△3.8	—
1株当たり純資産額 (円)	1,266.51	1,269.03	1,292.29	1,308.01	1,288.62	1,311.92	△19.39	△1.5
1株当たり当期(四半期) 純利益金額 (円)	33.60	20.22	17.39	61.57	△5.77	44.02	△49.79	—
営業活動によるキャ ッシュ・フロー(百 万円)	638	910	△36	1,901	1,481	1,995	△513	△25.8
投資活動によるキャ ッシュ・フロー(百 万円)	△952	△664	△265	△484	△251	△181	△69	38.3
財務活動によるキャ ッシュ・フロー(百 万円)	△715	△175	152	△1,224	△840	△1,740	899	—
現金及び現金同等物 の期末残高(百万円)	2,063	2,103	1,962	2,138	2,510	2,022	372	17.4
設備投資額 (百万円)	618	638	254	500	292	164	127	77.8
減価償却費 (百万円)	724	757	777	758	379	364	15	4.1
研究開発費 (百万円)	1,678	1,488	1,465	1,329	696	601	95	15.9

## セグメント別 四半期推移(会計期間)

単位(百万円)

		2017年 2Q	2017年 3Q	2017年 4Q	2018年 1Q	2018年 2Q	2018年 3Q	2018年 4Q	2019年 1Q	2019年 2Q
受注高	計測器	1,063	1,243	1,324	1,350	1,267	1,259	1,422	1,206	1,033
	特注試験装置	2,072	3,598	1,667	1,760	2,097	2,492	1,682	2,497	2,696
	その他	62	60	61	40	41	39	39	39	41
	合計	3,141	4,844	2,995	3,113	3,370	3,754	3,107	3,706	3,733
受注残高	計測器	526	594	394	382	501	585	652	380	577
	特注試験装置	3,587	6,312	6,039	4,720	4,820	5,355	4,686	4,508	6,067
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	4,113	6,907	6,433	5,102	5,321	5,941	5,339	4,889	6,644
売上高	計測器	876	1,174	1,524	1,362	1,148	1,175	1,355	1,478	873
	特注試験装置	1,419	872	1,941	3,078	1,998	1,956	2,351	2,675	1,137
	その他	62	60	61	40	41	39	39	39	41
	合計	2,300	2,050	3,469	4,444	3,151	3,134	3,709	4,157	2,015
利益	計測器	△330	71	492	340	66	50	139	316	△254
	特注試験装置	△282	△383	△43	469	△123	△170	190	344	△479
	その他	13	9	11	2	6	3	5	4	6
	合計	△610	△310	448	809	△56	△120	329	662	△733

## 前年同四半期比増減金額

単位(百万円)

		2017年 2Q	2017年 3Q	2017年 4Q	2018年 1Q	2018年 2Q	2018年 3Q	2018年 4Q	2019年 1Q	2019年 2Q
受注高	計測器	18	115	173	2	203	16	97	△144	△234
	特注試験装置	523	1,520	△65	194	24	△1,106	14	736	598
	その他	0	0	0	△18	△21	△20	△21	0	△0
	合計	542	1,636	107	196	228	△1,089	112	593	363
受注残高	計測器	102	117	71	43	△24	△8	258	△1	75
	特注試験装置	△66	2,085	1,749	1,787	1,233	△956	△1,352	△212	1,247
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	36	2,202	1,820	1,830	1,208	△965	△1,093	△213	1,323
売上高	計測器	△157	101	218	30	271	0	△169	115	△274
	特注試験装置	△226	△630	271	156	579	1,083	410	△402	△860
	その他	0	0	0	△18	△21	△20	△21	0	△0
	合計	△384	△529	489	186	851	1,084	240	△286	△1,136
営業利益	計測器	△322	21	303	△137	396	△21	△352	△23	△320
	特注試験装置	56	△5	70	290	158	212	234	△124	△355
	その他	7	4	2	△7	△6	△6	△6	2	△0
	合計	△266	15	373	153	554	190	△118	△147	△677

(注) 上記金額はセグメント間取引消去を含んでおりません。